

總願寺 中興第二十世 真司追悼事業「大般若經轉読付大護摩供」開創
「大般若經 奉納」勸募のお願い

謹啓 当山檀信徒の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より總願寺護持発展のため、格別なるご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、總願寺第二十一世 住職晋山を機縁とし先代住職の遺徳を偲び、その志を未来へと受け継ぐため、總願寺中興第二十世 山口真司 大和尚追悼事業として、新たに

「大般若經轉読付大護摩供」を開創いたしたくご案内をさせていただきます。

「大般若經轉読」とは「西遊記」の玄奘三蔵が翻訳した『大般若經』六〇〇巻の経題を読み上げ、經典一卷一卷を転読する法要です。転読の風にあたると無病息災のご利益があるとされます。記録によると、七〇三年に文武天皇が四大寺に命じて行わせて以来、天下泰平・万民豊樂・五穀豊穰・息災延命祈願のため、中世に至って全国に広まっていきました。先代住職によれば、總願寺においても「大般若經轉読」を行っていたそうですが、戦中戦後の混乱期に『大般若經』が散逸してしまい、せっかくの伝統行事が途絶えてしまっていたそうです。

この伝統行事復興が先代住職への追善供養にとどまらず、檀信徒・地域の皆様とともに祈りを重ねる春の恒例行事として育まれ、總願寺の法燈を未来へとつなぐ新たな法縁となることを願っております。

つきましては、檀信徒の皆さまに何卒お力添えを賜りたく伏してお願い申し上げます。本来であれば拝眉の上、お願い申し上げるべき所ではございますが、書面でのお願い何卒ご海容を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和八年 五月 二十八日

真言宗智山派 不動ヶ岡不動尊 總願寺 住職 山口真玄

記

一、事業名称 總願寺中興第二十世 山口真司 大和尚 追悼事業

「春の大祭 大般若經轉読付大護摩供」開創

二、基金名称 總願寺中興第二十世 山口真司 大和尚 追悼事業勸募金

三、事業計画 「春の大祭 大般若經轉読付大護摩供」開創「大般若經 奉納」

四、基金目標額 六〇〇万円（一口一万円より ※何口でもありがたく申し受けます）

五、募集期間 二〇二六年五月二十八日 ～ 二〇二七年五月二十八日

六、勧募方法 別紙をご参照ください。

以上